

令和6年1月17日
総務教育常任委員会資料
消防本部警防課・救急課

令和5年の火災・救急・救助概要について

加古川市消防本部

火 災 概 要

1 火災件数

- (1) 令和5年の火災件数は94件で、前年と比較すると6件の増加となっています。
- (2) 火災種別毎の火災件数を前年と比較すると「建物火災」は52件で1件の増加、「林野火災」は2件で1件の減少、「車両火災」は6件で4件の減少、「その他火災」は34件で10件の増加となっています。
- (3) 全火災(94件)のうち「建物火災」の占める割合は55.3%となっています。

市町別	火災種別	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	増 減 数
加古川市		36	2	6		29	73	+ 8
稲美町		10				5	15	± 0
播磨町		6					6	- 2
合 計		52	2	6	0	34	94	+ 6
増 減 数		+ 1	- 1	- 4	± 0	+ 10	+ 6	

2 被害程度

(1) 人的被害

ア 火災により、38世帯69人がり災しています。

イ 「死者」は4人発生しており、前年と比較すると2人の増加、「負傷者」は15人発生し、2人の増加となっています。

市町別	区分	り災世帯数 (世帯)	り災人員 (人)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
加古川市		31	58	3	12
稲美町		3	5		2
播磨町		4	6	1	1
合 計		38	69	4	15
増 減 数		+ 10	+ 1	+ 2	+ 2

(2) 物的被害

ア 建物火災の焼損床面積は 1,512 m²で、前年と比較すると 389 m²の増加となっています。

イ 建物火災による損害額は 6,307 万 6 千円で、前年と比較すると 1,579 万 7 千円の増加となっています。

市町別	区分	建物焼損床面積 (m ²)	床面積増減数 (m ²)	損害額 (千円)	損害額増減数 (千円)
加古川市		1,340	+ 483	52,107	+ 12,376
稲美町		71	- 166	4,098	- 2,688
播磨町		101	+ 72	6,871	+ 6,109
合計		1,512	+ 389	63,076	+ 15,797

3 出火原因

全火災 (94 件) のうち、主な出火原因は、「たき火・焼却火」が 24 件で全体の 25.5%と最も多く、次いで「こんろ」、「電気機器」が 7 件、「たばこ」、「電灯・電話等の配線」が 6 件、「放火」が 5 件となっています。

原因別	加古川市						稲美町						播磨町						合計
	建物	林野	車両	船舶	その他	小計	建物	林野	車両	船舶	その他	小計	建物	林野	車両	船舶	その他	小計	
たき火・焼却火	6	2	1		12	21					3	3						0	24
こんろ	4				1	5	1					1	1					1	7
電気機器	4					4	1				1	2	1					1	7
たばこ	4				1	5						0	1					1	6
電灯・電話等の配線	3				2	5	1					1						0	6
放火	2				2	4						0	1					1	5
溶接機・切断機	1					1	2					2						0	3
放火の疑い	2				1	3						0						0	3
配線器具					1	1	1					1	1					1	3
排気管			1			1					1	1						0	2
火あそび	1		1			2						0						0	2
マッチ・ライター	1				1	2						0						0	2
焼却炉						0	1					1						0	1
ストーブ	1					1						0						0	1
内燃機関			1			1						0						0	1
その他(上記以外)	7		2		6	15	3					3	1					1	19
不明					2	2						0						0	2
合計	36	2	6	0	29	73	10	0	0	0	5	15	6	0	0	0	0	6	94

4 その他災害の活動状況

- (1) 令和5年のその他災害の件数は1,366件で70件減少しています。
- (2) 主な種別毎に前年と比較すると「危険物排除」は90件で11件の増加、「誤報」は136件で6件の減少、「救急支援」は980件で50件の減少となっています。
- (3) 全その他災害件数のうち、「救急支援」の占める割合は71.7%となっています。

種別	内容	加古川市	稲美町	播磨町	他市	小計	合計	増減数
危険物排除	施設等から危険物の流出	1				1	90	+11
	交通事故等による油流出	68	13	7	1	89		
燃焼物排除	たき火・焼却火	17				17	18	-15
	火あそび	1				1		
警戒・警備	異臭・異音	3	3	1		7	22	-19
	危険物流出事故の警戒	2				2		
	防災ヘリ等の離着陸場の設定、誘導、警戒	9		3		12		
	建物等の倒壊、落下に対する警戒					0		
	鎮火後の現場警戒	1				1		
誤報	自動火災報知設備等の誤作動又は誤操作	92	5	16		113	136	-6
	火災と見誤ったもの (たき火の煙、水蒸気等)	18		2		20		
	虚偽の通報	3				3		
水防	風水害等の活動又は警戒	4		1		5	5	-16
調査	事後に知り得た災害事故調査	6	1			7	7	-2
救急支援	心肺機能停止状態が疑われる場合の支援	615	78	65		758	980	-50
	安全管理を要する道路における支援	88	9	19	4	120		
	傷病者の搬出における支援	54	7	13		74		
	その他	21	2	5		28		
その他	上記の種別に該当しないもの	86	14	7	1	108	108	+27
合計		1,089	132	139	6	1,366	1,366	-70

救 急 概 要

1 救急出動件数

(1) 令和5年の救急出動件数は過去最多の19,708件、搬送人員数は17,853人で前年と比較すると救急出動件数は898件増加(+4.8%)、搬送人員数は907人増加(+5.4%)しています。

(2) 救急出動件数は1日平均54.0件(前年51.5件)で、26.7分(前年27.9分)に1回の頻度で救急出動しています。また、1日の最多救急出動件数は92件(前年89件)で過去最多となっています。

(3) 現場到着所要時間の平均は8.9分(前年比±0分)となっています。

市町別	救急件数	増減数	搬送人員	増減数
加古川市	15,867	+764	14,347	+790
稲美町	1,869	+96	1,729	+67
播磨町	1,955	+52	1,759	+62
他市	17	-14	18	-12
合計	19,708	+898	17,853	+907

2 事故種別別の救急出動件数

事故種別別の救急出動件数については、「急病」が13,295件で最も多く、前年より727件増加し、全体の67.5%を占めています。

事故種別	急病	一般負傷	交通	転院	その他	合計
件数	13,295	3,000	1,355	1,268	790	19,708
比率	67.5	15.2	6.9	6.4	4.0	100.0
増減数	+727	+158	+20	+29	-36	+898

※割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

3 傷病程度別の搬送人員数

傷病程度別の搬送人員数については、「軽症」が7,929人で最も多く、前年より944人増加し、全体の44.4%を占めています。

傷病程度	軽症	中等症	重症	死亡	合計
人員数	7,929	7,543	2,117	264	17,853
比率	44.4	42.3	11.9	1.5	100.0
増減数	+944	-53	+17	-1	+907

※割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

4 年齢区分別の搬送人員数

年齢区分別の搬送人員数については、「高齢者」が10,841人で最も多く、前年より431人増加し、全体の60.7%を占めています。

年齢区分 区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
人員数	12	1,307	815	4,878	10,841	17,853
比率	0.1	7.3	4.6	27.3	60.7	100.0
増減数	+6	+243	+32	+195	+431	+907

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

5 病院収容所要時間別の搬送人員数

(1) 救急事故の覚知から傷病者を医療機関に収容するまでに要した時間は、「30分以上60分未満」が11,797人で最も多く、全体の66.1%を占めています。

(2) 病院収容所要時間の平均は39.6分（前年比-0.1分）です。

所要時間 区分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均 所要時間
人員数	4	345	4,143	11,797	1,472	92	39.6分
比率	0.0	1.9	23.2	66.1	8.2	0.5	
増減数	+2	-65	+162	+779	+58	-29	

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※統計表中の「0.0」は、単位未満の数を示しています。

6 心肺機能停止傷病者の救命率

一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者63人のうち、「1か月後生存者数」は11人（1か月後生存率17.5%）、「1か月後社会復帰者数」は4人（1か月後社会復帰率6.3%）となっています。

区分 年	心肺機能停止 傷病者数	一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者数				
		1か月後 生存者数	1か月後 生存率	1か月後 社会復帰者数	1か月後 社会復帰率	
令和5年	360	63	11	17.5%	4	6.3%
令和4年	340	63	10	15.9%	6	9.5%

救 助 概 要

1 救助出動件数

- (1) 令和5年の救助出動件数は386件で、前年と比較すると58件増加しています。
- (2) 事故種別毎の救助出動件数は、「建物等による事故」が187件(48.4%)と最も多く、次いで「交通事故」の88件(22.8%)となっています。

なお、「建物等による事故」とは、「施錠された建物内での安否確認」のほか、建物内での「閉じ込め」や「挟まれ」等も含まれています。

事故種別 市町別	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他 の事故	合計	増減数
加古川市	34	72	10			157	3	37	313	+ 56
稲美町	10	8				13	1	2	34	+ 6
播磨町	4	5	2			17	1	7	36	+ 2
他 市		3							3	- 6
合 計	48	88	12	0	0	187	5	46	386	+ 58
増減数	+ 7	+ 25	+ 2	±0	±0	+ 24	+ 2	- 2	+ 58	

2 事故種別救助人員数

- (1) 救助人員数は187人で、前年と比較すると30人の増加となっています。
- (2) 事故種別毎の救助人員数は、「建物等による事故」が106人(56.7%)と最も多く、次いで「交通事故」が40人(21.4%)となっています。

事故種別 市町別	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他 の事故	合計	増減数
加古川市	4	31	8			96	2	19	160	+ 39
稲美町		5				3		1	9	- 7
播磨町	1	3	2			7	1	3	17	+ 1
他 市		1							1	- 3
合 計	5	40	10	0	0	106	3	23	187	+ 30
増減数	+ 4	+ 2	+ 5	±0	±0	+ 11	+ 1	+ 7	+ 30	

3 傷病程度別救助人員数

(1) 事故種別・傷病程度別救助人員数を前年と比較すると、「死亡」は57人で11人の増加、「重症」は25人で3人の増加、「中等症」は42人で増減はなく、「軽症」は34人で16人の増加となっています。

(2) 傷病程度別救助人員数で、最も多いのは「死亡」で、全体の30.5%を占めています。

事故種別 傷病程度	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	その他 の事故	合計	増減数
死亡	4	3	7			40	2	1	57	+ 11
重症		5				15	1	4	25	+ 3
中等症		13	2			24		3	42	±0
軽症		18	1			9		6	34	+ 16
その他	1	1				18		9	29	±0
合計	5	40	10	0	0	106	3	23	187	+ 30
増減数	+ 4	+ 2	+ 5	±0	±0	+ 11	+ 1	+ 7	+ 30	